



# みすずかる

須坂小学校学校だより

Tel : 026-245-0071

№0.7

令和6. 2. 1発行

## クリスマスコンサート 12月22日

毎年、須坂支援学校校歌を作詞作曲された春畑セロリさんとクラリネット奏者、高井洋子さんが来校されて、本校児童に楽しい音楽の演奏プレゼントをしていただいています。セロリさんの奏でるピアノと高井さんの柔らかいクラリネットの音色が音楽室に響くと、参加した5年生の目がたちまち輝き、笑顔でいっぱいになりました。クラリネットの仕組みや音の出し方、セロリさんが作曲された音楽物語の演奏等、あっというまの楽しいひとときを過ごしました。



## ファイナルコンサート 12月22日

1年間にわたって活動が続けてきた6年生の鼓笛活動。この日、活動の集大成となるファイナルコンサートを行いました。当初は12月1日に計画していたコンサートでしたが、感染症のあおりを受け、22日実施となりました。6年生の思いは一つ。「全員出席で最後のステージを成功させたい」ジャズスウィングにアレンジされた『線路は続くよどこまでも』は、楽器ごとに体型が変わる演出があり、リズムの心地よさと演出の楽しさに、魅了される演奏でした。来年度より課外クラブとなり、4年生から6年生の希望児童が活動します。3学期は5年生全員が6年生より引き継ぎ、4月につなげます。



## 3学期スタート 1月9日

3学期がスタートしました。始業式では、2・3・5年生の代表児童が、3学期のめあてを発表しました。「雪遊びを思いっきり楽しみたい」「算数のたしざんひきざんをやる」「忘れ物なし」「挨拶」「お掃除」「早寝早起き」を頑張りたい2年生。「復習・まとめをして、今より分かりたい」「国語をしっかり勉強する」と進級準備を意識する3年生。「学校をいっぱい年、成長できる学期にしたい」「児童会や鼓笛活動を自分から進んでやっていきたい」と最高学年への心構えを強く感じた5年生の決意から、須坂小学校の3学期もよいスタートを切れたなあと感じることができました。



## PTA人権講演会 1月17日

スペシャルオリンピックス (SO) サッカー日本代表選手、山本 富(とむ)さん、同じく代表コーチの下田有輝さん(須坂支援学校教諭)をお迎えして、『自分らしく生きる～スペシャルオリンピックス世界大会で見えた景色～』と題し、講演をいただきました。3年生以上の児童と保護者の皆様が参加しました。

山本さんは、須坂支援学校の卒業生です。昨年行われた SO では、大会最多得点10点を挙げ、日本は見事金メダルを獲得しました。小学生から始めたサッカーは、障がいがあることで思うように練習できないときもあったそうです。大好きなサッカーをやりたい思いは強く、支援学校在学の時も校庭でよく練習をしていたそうです。実際にシュートの実演もいただきました。富さんの姿から、好きなことをとことんやり、夢を追求し続ける素晴らしさを教えていただきました。



# 大谷翔平選手からのプレゼント

1月18日

1月12日（金）、待ちに待った大谷選手から寄贈されたグローブ3つが須坂小学校に届きました。早速15日（月）～17日（水）まで、昇降口にあるガラスケースに展示。あっという間に人だかりとなりました。

支援学校にも3つ届いたので、支援学校と合同で18日（木）に全校が集まってお披露目の会を行いました。野球経験のある3人の児童と支援学校児童が、早速グローブをはめてキャッチボールをするデモンストレーションを行いました。

全学年体育の授業等でグローブを使った後、休み時間等で気軽に使えるようにしていきたいと思えます。



## 雪やこんこ 冬の遊び 冬の時間

待ちに待った雪が降り、子どもたちは大喜び。1年生は雪がしんしんと降る中でも、雪の中を駆け回り、寝転がり、雪に溶け込んでいました。築山のそりすべりも豪快でしたよ。2年生は昇降口ロータリーに造成した150周年記念庭園に大きなかまくらを作っていました。



ほっとルームでは、業間休みの時間に英語ボランティアの皆さんが、福笑いを用意してくださいました。目隠ししたお友だちに、



「アップ (up)」「ダウン (down)」「ストップ (stop)」と英語で教え合い顔を完成させていきます。目隠しをとるとみんな大笑い。ほっとルームでの初笑いが響きました。

図書委員さんは、読書旬間に合わせて学級で読み聞かせをしていました。読み手も聞き手も真剣。友だちが一生懸命読んでいる空気を感じながら、友だちが読むお話の世界へと誘われていました。

### 【日常の生活から】

掃除の時間、本校はひざをついて片手で拭くぞうきんがけで床を拭いています。ある日、生活科室に入るとぞうきんがけをする一人の一年生の姿に目が留まりました。黙々とふく手を見ると小さくたたまれたぞうきんに少し開いた右手が置かれています。あの大きさにたたんだ子の奥底にあるものはなんだろう。

もう少しぞうきんを大きくすれば、もっと早くぞうきんがけを終えることができるはずなのです。

この子の後ろには、横4マスずつの床板を拭いた水拭きの跡が残っていました。今日のこの子がどう床と向き合い、そして自分と向き合っていたのか、このわずかな時間に思いをこめたストーリーを感じ、爽やかな気持ちで生活科室を後にしました。



- インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症による欠席が続いています。引き続き予防に努めていただきますよう、ご協力お願いします。お子さんの体調がよくないときは、無理をして登校せず、休養をとってください。
- 除雪した雪が凍って、歩道が滑りやすくなっているところがあります。また、固くなった雪玉を投げて人や車にあたってけがや事故につながることもあります。雪道の歩き方について、ご家庭でも声をかけていただくと嬉しいです。安全第一です。